

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立 水沢小学校
校長 福島 孝直**1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい**

「水沢の郷土を愛し、心身ともに調和のとれた子の育成～学校を核とした地域力の向上とともに～」を活動目標に設定し、児童の教育については20年後、30年後に水沢地区を支える人材として「調和のとれた人間性」「地域を理解し、地域を愛する子」「地域や地域の人々をつながり合える子」の育成をめざしています。また「学校を核としてつながり合える地域社会づくり」「世代間の交流が高まる地域社会づくり」をめざした活動になることをねらいとして、地域との連携を図っています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**（1）教育活動の実践事例**

「水沢を学ぶ」「水沢に学ぶ」「水沢と学ぶ」をキーワードに、水沢地区の自然、文化、歴史、産業などを学び、学習の充実を図ることができました。昨年度同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のために活動を縮小することはありましたが、活動内容を工夫することで、子どもたちはどの活動にも真剣に取り組むことができました。

① お茶を中心とした取組

「お茶づくり」を中心とする地場産業の振興は、地域の人々の大きな願いのひとつです。毎年、本校では学校が所有する学校茶園で「お茶摘み体験」をおこなっています。昨年度はできませんでしたが、4月27日（火）に6年生が体験しました。また、三重茶農業協同組合やJA、お茶農家の方々をゲストティーチャーとしてお招きし、水沢のお茶の歴史や効力を学んだり、おいしいお茶の入れ方を体験したりしました。かぶせ茶や番茶、ほうじ茶などをあてる「きき茶」体験をすることもでき、水沢茶の魅力に触れるよい機会となり、貴重な体験を実施することができました。

**② 安心・安全の取組**

5年生は地域コーディネーターの方をゲストティーチャーとしてお招きし、6月15日（火）に「防災教室」を開催しました。「自助・共助・公助」の大切さについて考えたり、防災倉庫を見学したりして、防災意識を高めました。また、6月25日（金）26日（土）におこなわれた自然教室では、非常食であるアルファ米とレトルトカレーを調理して、改めて防災について考えました。



さらに、きらら全員協議会を中心とした年3回実施する「交通安全・あいさつ運動キャンペーン」をはじめ、保護者による下校パトロール、地域の「みまもる会（見回りボランティア）」の方々による登下校の見守りなど、児童の安全を地域全体で見守っていただいています。

③ 地域ぐるみですすめる人づくり

社会福祉協議会と共同開催の予定であった文化祭をおこなうことはできませんで

したが、公開授業のみを実施しました。4～6年生の子どもたちは、11月3日（水）に地域のゲストティーチャー（全盲の方とガイドヘルパー）をお招き



し、「SSピンポン」（サウンドテーブルテニス）を実施することができました。県発祥の生涯スポーツで、視覚障がい者向けの卓球「SSピンポン」の普及を願う思いや子どもたちの心にせまる人権教育について学ぶことができました。

また3年生は、パラリンピックの種目にもなっている「ボッチャ」を体験しました。水沢地区のスポーツ推進委員さんを中心にお世話になり、障がい者スポーツを通じて人権教育について学び、楽しむことができました。

④ 地域理解を推進する取組

5年生は、地域の米づくり農家の方にお世話になり、足見田神社の東側の田んぼを借りて米づくりをおこないました。子どもたちは5月10日（月）に「田植え」、9月



27日（月）に「稲刈り」を体験することができました。稲作の世話や脱穀、藁で縄づくりなどを体験することもできました。1・3年生は、白寿会（老人会）のご厚意で昔遊びの活動に取り組みました。

⑤ 花いっぱい運動

4年生は、11月1日（月）水沢地区「花いっぱい活動」の一環として、水沢地区社会福祉協議会の方々のご指導を受け、プランターにパンジーやビオラ等の苗を植えました。校庭にはたくさんの花が飾られ、学校が明るくなりました。



（2）コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ① コミュニティスクール推進委員会と地域が共催し、さまざまな活動や交流会を実現できました。子どもたちが郷土や水沢に親しみや誇りをもち、水沢の人や自然、文化、産業などを見つめ直し、地域の方々とともに考えるよい機会となりました。
- ② 地域と連携した交通安全・あいさつ運動や防災関連事業、ボランティア事業、そしてお茶の学習の取り組みや体験活動を中心とした教育実践において、コミュニティスクール推進委員会が人的・物的両面で地域・学校間の重要なパイプ役を果たしていただき、柔軟な活動がつながりました。

3 今後に向けて

「水沢地区」に焦点化しながら教育課程に位置づけられている教育活動をコミュニティスクール事業の活動として位置づけ、よりいっそう地域とつながり、交流を深めることに努めてきました。地域の方々とのおふれあいや交流活動を通じて、子どもたちは思考力や判断力、表現力やコミュニケーション力などを高めることができています。

今後も、地域と学校が連携・協働し、地域社会全体での教育の実現をめざし、水沢地区を深く愛する子どもたちの育成をめざし、取り組みを推進していきたいと思っております。